

横瀬会場質疑応答

令和2年10月13日（火）19時

住民

故障についての説明がない。故障があった場合、どうするのか。以前にも話があり、秩父市の人と話し合った際に、いくつかの施設に分けた方がよいのではないかという声が出た。昨年台風が直撃し、別所の施設が被害を受けたとなると、住民からすると非常に不安。きれいな水と空気は必要なもの。一つでも欠けたら普通に生活できない。水は生活の一部で非常に重要。

本日会場に入った際、あまりにも参加者が少ないため驚いた。これでよいのか、参加者が少なすぎる。水の重要性を考えると多くの参加者が参加し、会場がコロナで心配になる状況であってもおかしくないと思う。

聞きたいことは故障があった場合どうするのかということ。住民は水が出ないことを想定していない。故障したときはどのような対応をするのか。

水道局

故障の考えについて。先ほどの説明で補助金を使った形で各施設等の様々なものに対して耐震化をしながら更新工事を行っている状況。補助金をもらえるからこそ可能な事業。昨年の台風で災害があった。その際、広域化のメリットは市町村をまたいで応援給水が行える。別所で断水が起きたが、横瀬町の職員も応援給水や様々な手伝いを行った。横瀬町は断水が起きなかったが、各事務所でも災害に備え、準備をしている。しかし自然災害は我々の想像を絶する。その際には市町村をまたいだ応援給水が行える状態にある。

断水について。昨年別所での断水が起きた時、水道局では給水車を2台所有しており、給水を行った。また埼玉県内で協定を結んでおり、県内の事業者から応援が来るような体制になっている。県内から何台も給水車を派遣していただき、自衛隊の協力もあって、断水地区の給水を行うことができた。できる限り断水が起きないように職員の努力も行う。しかし、想像を絶する自然災害が起きた場合は、市町村をまたいで応援給水等を行う対応をしていきたい。

故障に対する不安について。横瀬町の安定給水の段階を考えた場合だが、給水をするための横瀬川の水自体も減っている。そこから水を作って安定給水を行う前の段階で、水道のもとになる河川水が減っている。それのみに頼ると安定給水が困難になる。ご理解いただきたい。

住民

先ほども言ったが水というのは非常に大事。昨年の千葉の災害もあったが、想定していない被害が起こっている。その時にどうするのかということを知りたい。他の市町村等からの応援があるから大丈夫というレベルではない。今現在異常な自然災害が起こっている。そのため一つの大きな施設ではなく、いくつかの施設を作り、一つの施設が稼働できない時に他の施設で回す体制が必要ではないか。

富田理事

おっしゃることは理解できる。最近では想定していない自然災害や異常気象の頻度が増加しているのは我々も認識している。それを踏まえ、我々なりにベストを尽くすことを改めて考えていきたい。いかなる状況でも安全な水を安価で安定供給することは水道事業の使命だと考える。平常時の運転とともに、危機管理も大事と考えており、危機管理体制をいかに整えるのか、またバックアップの態勢もいかに整えるのか、しっかりやっつけていかなければならない。一方で現在の秩父地域の状況を考えると、今後人口減少が進んでいく中で一人一人の負担が大きくなる。危機管理を踏まえたうえで最適解を考えていかなければならない。施設が一か所であるとリスクが高くなるということはその通りである。ある程度バックアップ等も必要。その中で現実的なところを探っていかなければならない。我々は安全な水を安価で安定供給をするために広域水道局としてベストを尽くしていく。

住民

こちらの考えと違う回答。議会では料金について議論をしているのか。また、議会で承認されているのか。

水道局

これから11月議会があるので、そのための事前の住民説明会を行っている状況。

住民

承知した。いただきたかった回答ではないが、ほかの人の意見もあると思うため、この辺で。

住民

1点気になる点がある。補足資料1ページの13mmで40m³使用したときは14.1%の値上げ。9割の住民は13mmを使っている。17ページでは横瀬は7.18%の値上げと書かれている。補足資料の3ページでは、ほとんどの人が値上げになっており、約380円で年間4,560円の値上げ。二人世帯で一人当たり300Lとみると、1カ月で18m³、2カ月で36m³、一般的な計算だとこのくらいだと思われる。年間4,560円の値上げは14.1%の値上げになると思うが、なぜ7.18%の数字になるのか。供給単価の計算上でこのような数字になると思うが、実際の使っている人の割合等を考えると、横瀬町の値上げ率はもっと高いはずではないか。なぜ7.18%なのか。数字がうまく合わない。教えていただきたい。

水道局

17ページの7.18%の値上げは供給単価を基礎に計算している。横瀬町は173.45円を基準料金の185.90円にした値上げ率ということ。補足仕様の1ページの40m³使用した場合横瀬町は760円上がる。この場合は、14.1%の値上げになるが、あくまで平均の数字である。ご理解いただきたい。

- 以上 -

||